



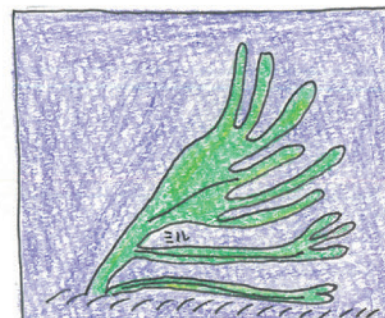
ひじき

いる場所: 潮間帯下部の岩上
 ○からだは肉柱状で主軸からフリアリした枝や小枝を出すよ。
 ○色は黄褐色(茶色)を基調とした茶色。緑色。
 ○岩の上に根っこを張って7~8年生きつづけるよ。



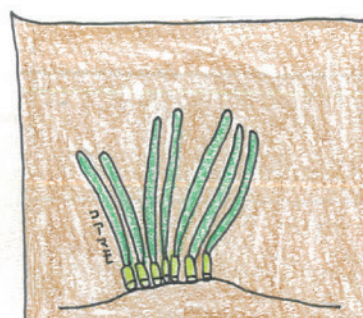
ホンダワラ

いる場所: 低潮線付近から潮下帯の岩の上
 ○木質の気胞があるのが特徴。
 ○色は茶褐色(やや黒い濃い茶色)。
 ○茎・主枝・葉・気胞をもっていて、見た目が陸上植物に似ているよ。



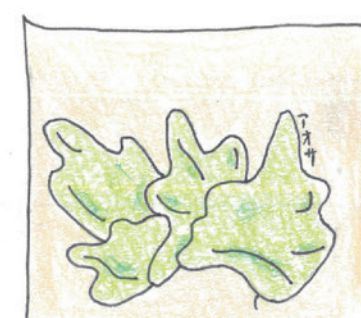
ミル

いる場所: 低潮線付近の岩の隙間
 ○からだは肉柱状で手触りはフェルト上でざらざらする。
 ○色は深緑色。
 ○木質様としても使われていて、海苔(ノリ)や味噌(味噌)と間違われるよ。



コアマモ

いる場所: 潮間帯下部~潮下帯にかけての砂泥地
 ○細長い葉と地下茎(植物の地中にあるくちのこと)からなる。
 ○砂泥地に地下茎を伸ばして生えている。葉は細かく葉脈は2本。



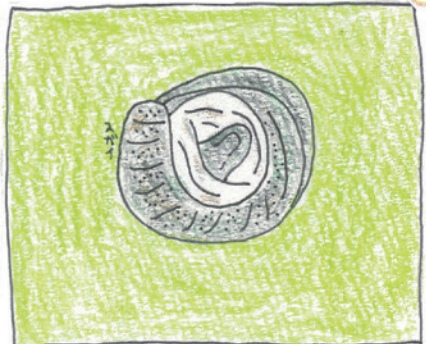
アオサ

いる場所: 潮間帯中部~低潮線付近
 ○葉は肉質で円形から楕円形。
 ○手触りはやわらかく、触るとカサカサとした音がする。
 ○鮮緑色(明るい緑)~黄緑色。



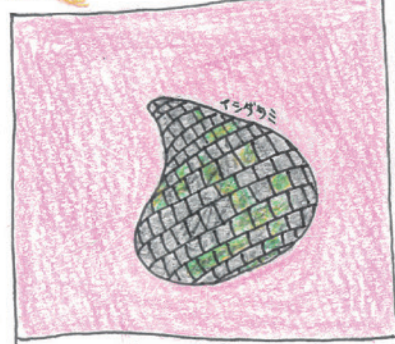
ウミトナリ

いる場所: 潮間帯中部~下部の波あたりが弱い岩上
 ○からだは主軸から小さな葉や気胞を四方にだして、細くもろだつたネコの尾みたい。
 ○緑がかった濃い茶色~濃褐色。



スガイ

いる場所: 干潮の時は石の石の下にいて、上げ潮とともに石の上に表れる。
 ○サザエに似た巻き貝。
 ○厚い半球形の蓋が特徴。
 ○殻口部をみると厚く丸いフタがある。



イシガタミ

いる場所: 潮間帯上部の潮が引いて露出する場所に密集しているよ。
 ○丸い殻に石畳の模様が特徴の巻貝。
 ○殻は細長い長方形の石畳を敷きつめたように見える。



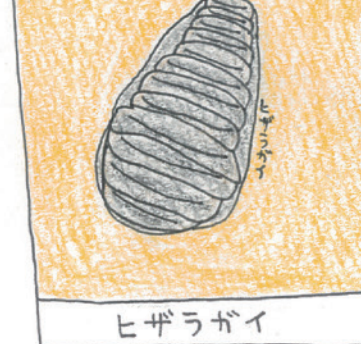
イボニシ

いる場所: 潮間帯の岩礁域(岩やコンクリート)に生えるがかなり上の部分で引き潮のときに干上がることがあるよ。
 ○日本全国の海岸の岩礁域で、通に生える小型の巻貝。
 ○肉食性の貝で巻貝のカキを獲る貝として有名。



ムラサキガイ

いる場所: 潮下帯の砂泥地に生える。
 ○殻長(頂上から口の先までの長さ)120mmになる大型巻貝。
 ○殻は長い楕円形で、滑らかな。
 ○光沢の強いオリブ色から黒色(黒ずんだ茶色)の殻皮でまみれている。



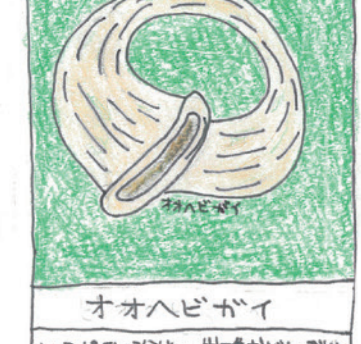
ヒズラガイ

いる場所: 石の岩礁の干上がることよ。
 ○岩にへばりついてほとんど動かない。まるで化石のような貝。



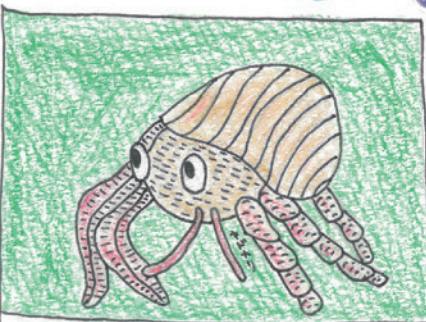
マルバガイ

いる場所: 潮間帯の岩礁域に生えるよ。
 ○貝殻は平たい皿型。
 ○上から見ると楕円形で表面には中心部から放射状の色素が見えるよ。



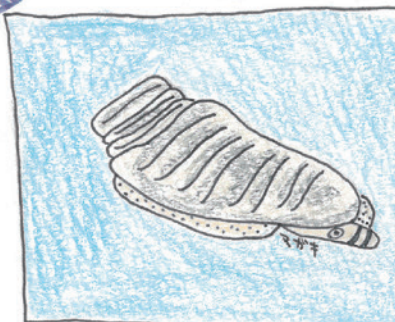
オオヘビガイ

いる場所: 沿岸の岩礁などに群生しているよ。
 ○深まった形の貝殻を持つたない非常にユニークな貝。
 ○とごうのように巻いた形が一般めだが、真すぐに伸びたものや色んな方向に曲がったものもある。



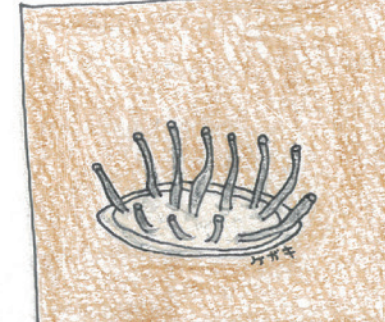
ヤドカリ

いる場所: 石の転石の下などに生えるよ。
 ○体は緑褐色(緑がかった茶色・黒い・グレイ色)で足の先端が白い。
 ○右側のハサミが左側に比べて大きいよ。
 ○石でヤドカリを観察するときは干潮のタイミングを要するよ。



マガキ

いる場所: 潮間帯~水深数mの岩礁域に生えているよ。
 ○海水を3回して浄化(きれいにする)する働きをしるよ。
 ○1回のカキが1日に3回する海水は約400リットル。



ケガキ

いる場所: 潮間帯上部の平らな岩礁域に生えているよ。
 ○黒い筒状のトゲが直立する。
 ○石の観察会などではトゲがささってケガをしないように注意が必要。



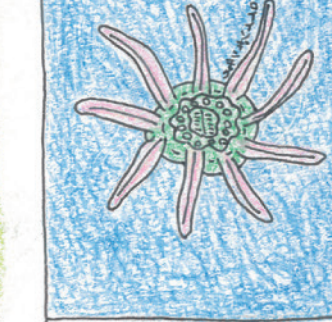
カキノテ

いる場所: 引き潮のときに干上がるような場所に群生(たくさんいるよ)しているよ。
 ○一見貝と思えるが、エビとかカニと同じ甲殻類の仲間。
 ○石などで簡単に採取できるよ。



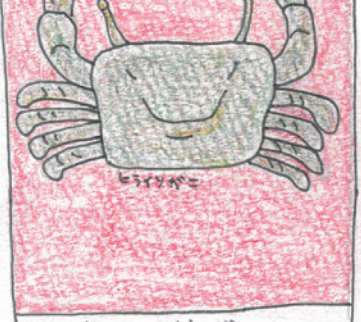
アラタマキ

いる場所: 潮間帯の中でも上部の海水の届かないところに密集して生えているよ。
 ○貝のくせに水中に生えることも、嫌うという面白い生態をもっているよ。



ヨロイソギンチャク

いる場所: 中~高潮帯の岩礁域に生えるよ。
 ○直径約3cm。体は貝殻や砂などで全面がまみれているよ。
 ○触手には白い模様が混じる。



ヒライガニ

いる場所: 外海水の影響がある岩礁域や転石の海岸の潮間帯の石の下に生えるよ。
 ○甲が平で光沢(ツヤ)があるよ。
 ○甲の色は石や貝に擬態する(まぎれ込む)ように変化する。
 ○ハサミにもやわらかくないよ。

① 潮間帯... 潮の干満で干上がったり海の中になったりする場所のことだよ。② 低潮帯... 干満により海面が低くなる時、陸と水面の境界線のことだよ。③ 潮下帯... 潮間帯より下の部分のこと。水深20~60mまでのことを言うよ。④ 岩礁域... 水中に隠れたり、水面上に少しだけ顔を出している岩のことだよ。⑤ 砂泥地... 海底が細かい砂地~泥地の場所のこと。⑥ 潮だまり... 石のくぼみに潮が引かずに残ったところ。⑦ 外海水... 湾や入り江ではなく、陸地の外側に広がる海のこと。



海藻だね！

いそばんさつ
石炭場観察はんどブック



石炭場観察の注意点だよ

- ① すばりにくい革化や軍手をつけて観察しようね。
(岩や貝などで手足が切れやすい！毒やトゲのある生物に注意！)
- ② 潮が満ちるのは思いのほか早く、海岸にもどれなくなる
ことがあるので気をつけようね。
- ③ 夏は熱中症に注意。水分補給をこまめにしよう。
- ④ 採取する量は最小限に留めよう。
- ⑤ 漁業協同組合が管理する場所では、水産動植物の採捕
禁止区域になっている場合があるよ。

こんなことをしたよ

小学生を対象に夏と冬に海の生き物たちを観察する
石炭場観察をしました。
参加いただいた子どもたちとその日に会った海の
生き物の絵を描いてもらい、石炭場観察はんどブック
『海藻だね』の製作に協力いただきました。

主催・NPO法人イドバタ・NPO法人ハコスイガン
後援・諫早漁業協同組合
instagram・hako-shonai
連絡先・お問い合わせ・hako.pr.info@gmail.com
050-3703-8547